



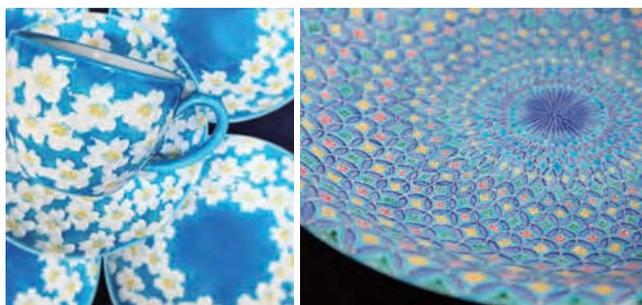
# 無鉛フリットを活用した新たな陶磁器の開発

有限会社洸春陶苑 × 窯業系チーム

## 事業概要

筒で粘土を絞り出して線を盛り上げて描く「いっちゃん」技法を用いて細やかな文様を描き、その線文様の内側を上絵具のような色釉薬で色分けし、鮮やかな発色が印象的な交趾(こうち)の器や茶道具を製作しています。

釉薬として、従来の有鉛フリットを、産技研が開発した環境負荷の少ない無鉛フリットに置き換えて陶磁器を制作する中で、従来の釉薬と「書き味」が違う無鉛フリットの特性を十分に把握し、独自の技術を確立することで同フリットの実用化への道筋を作りました。



## 産技研の支援内容

- 産技研の伝統産業技術後継者育成研修において、今回の成果の基礎となる釉薬についての自主研究に対する指導
- 研修修了後、産技研開発の無鉛フリットを使った商品開発において、同フリットの特性をいかした釉薬の設計に対する技術支援

## 成果と事業展開

- 交趾の持つ表現力を生活空間にいかせる調度品等への展開を検討
- 建築内装材(アートパネル・照明・手洗い器等)の更なる販路拡大
- 金属や有機物(木、繊維、プラスチック等)でできた商品等の素材を、今回の技術をいかした陶磁器に置き換え、家電等新たな分野における価値の創出

代表取締役  
高島 慎一氏の一言

無鉛フリットは、長い時間をかけて職員の皆様が研究を重ねられ、その使用感について様々な議論をさせていただきました。私たち事業者の課題に真摯に向き合っていたいただいた成果が表れている絵具だと思います。この絵具が開発されたことで、国内はもとより海外に向けても事業の展開が広がり、さらに京焼・清水焼を発展させることができると考えております。

担当チーム  
から一言

無鉛フリットは有鉛フリットに比べ扱いが難しく、発色が鮮やかでないなどの劣位性が指摘される中、それを補う技術を着実に構築され、独自の無鉛フリットを使った作品へと繋げておられます。今後の更なる製品開発が楽しみです。

## 有限会社洸春陶苑

所在地 京都市東山区今熊野南日吉町148番地  
電話 075-561-5388  
事業内容 陶磁器製造

